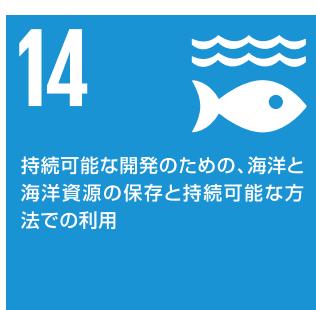
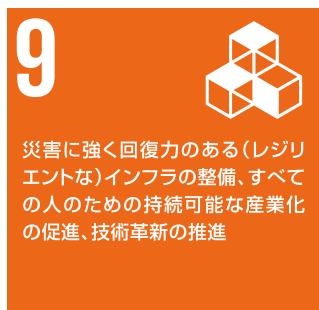
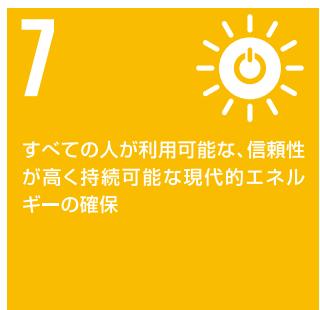




持続可能な開発目標

(SDGs) (日本ユニセフ協会訳)



世界母乳育児行動連盟(WABA)は、世界規模で母乳育児を保護・推進・支援する個人と組織の世界的なネットワークです。WABAの活動は、「イノチエンティ宣言」、「すばらしい未来を作り出すための10のリンク(連結)」、「乳幼児の栄養に関する世界的な運動戦略」に基づいています。WABAの現在の中心となる仲間はすべて、主要な国際的母乳育児支援団体でもあります。母乳育児医学アカデミー(ABM)、乳児用食品国際行動ネットワーク(IBFAN)、国際ラクテーション・コンサルタント協会(ILCA)、ラ・レーチェ・リーグ・インターナショナル(LLI)、ウェルスタート・インターナショナル(WI)。WABAは、ユニセフ(国際連合児童基金)の諮問資格を有し、また、国連経済社会理事会(ECOSOC)の特殊協議資格をもつNGOです。

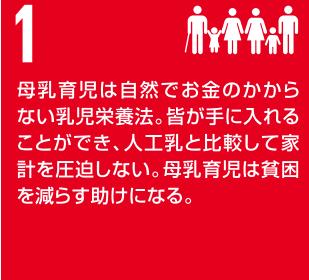
WABAはいかなる形でも、母乳代用品、関連する器具や補完食を生産する企業からの資金援助はお断りしています。WABAは世界母乳週間の参加者全員が、この倫理上の立場に従い、これに敬意を払ってくださるようお願いしています。



WABA世界母乳育児週間

母乳育児

持続可能な開発の鍵



1

母乳育児は自然でお金のかからない乳児栄養法。皆が手に入れる事ができる、人工乳と比較して家計を圧迫しない。母乳育児は貧困を減らす助けになる。

2



生後約6ヵ月間は母乳だけで育て、その後は適切な補完食を補いながら母乳育児を2年かそれ以上まで継続されれば、高品質の栄養、十分なカロリーが得られる。飢餓、低栄養、肥満を予防する助けになる。母乳育児は乳児に安定して食べ物を供給できる食糧安全保障になる。

3



母乳育児は乳幼児の健康・発達・生存を有意に改善させる。短期的にも長期的にも母親の心身の健康を改善する。

4



母乳育児と十分な補完食はその後の学習のための基礎となる。母乳育児と良質な補完食は、精神と認知の発達に寄与し、そのため学習能力を向上させる。

5



母乳育児は不平等を改善する手段である。すべての子どもが人生の初めに公平で最善のスタートを切ることができる。母乳育児は女性の固有の権利であり、女性が最適な母乳育児ができるように社会は支援していくなければならない。母乳育児は母親にとって満足感を得る経験であり、エンパワーワされる経験でもある。どのように赤ちゃんを育てるかの主体を女性がもつからである。

6



欲しがるときに欲しがるだけ母乳を与えると、たとえ熱帯であっても赤ちゃんに必要な水分は摂取できる。一方、人工栄養は、清潔な水、安全に調乳できる衛生状態や設備を必要とする。

7



人工乳を企業が製造する場合と比べ、母乳育児は(訳注 石油や電気などの)エネルギー資源をそれほど必要としない。

8



雇用主から母乳育児を応援している女性は、生産性が高く雇用主への忠誠心が高い。母性保護やそのほかの職場の方針によって、女性は母乳育児と仕事や雇用を両立することができる。働きがいのある人間らしい仕事は、授乳中の女性、特に不安定な状況にいる授乳中の女性のニーズに合わせたものであるべきだ。

9



工業化と都市化に伴い、時間と場をどう確保するかがどんどん難しくなってきてている。家の外で働く授乳中の母親はこうした困難に対処する必要があり、雇用主・家族・地域からの応援が必要である。職場に近い保育所、搾乳室、授乳のための育児時間があることで、ずいぶん違ってくる。

10



母乳育児の状況は世界中の国で違う。母乳育児はすべての場で保護され推進され支援される必要があるが、貧しく脆弱な人々の集団ではとりわけそうである。そうすることで不平等が緩和される助けになる。

11



都会の喧騒のなか、すべての公共空間で、授乳中の母親と赤ちゃんは安心して迎え入れられる必要がある。災害や人道危機が起きた場合は、女性と子どもは特に影響を受ける。妊娠中や授乳中の女性はこうしたときには特別な支援を必要とする。

12



母乳育児は、健康的・実用的で汚染を起こさずエネルギーも必要とせず持続可能な、栄養と暮らしの天然資源を提供する。

13



母乳育児は、戦禍などの人災や地震、地球温暖化による気候関連災害(水害など)にあつたときでも、乳児の健康と栄養を守る。

14



母乳育児は人工栄養に比べて水を必要としない。企業の人工乳製造と流通は廃棄物を生み出し、それが海を汚染し、海洋生物に影響を与える。

15



母乳育児は人工栄養に比べて環境にやさしい。人工乳は酪農業と関連しているが、二酸化炭素を排出し、気候変動につながる可能性がある。

16



母乳育児はさまざまな人権に関する枠組み・条約の中で重要なものと位置付けられている。母乳育児中の母親と赤ちゃんの権利を保護するために、彼らを保護し支援するための国内法制や方針が必要である。

17



「乳幼児の栄養に関する世界的な運動戦略」は多方面との協働を促している。開発を支持するさまざまな協力関係を基盤にして、複数の母乳育児のプログラムや運動(イニシアチブ)を通して推し進めることができる。

翻訳・発行:母乳育児支援ネットワーク Breastfeeding Support Network of JAPAN (BSNJapan)

このパンフレットの翻訳・発行はWABAの許可により実現しました。日本語訳の転載、複写を希望される場合は、必ず事前に母乳育児支援ネットワークまでお問い合わせください。

問い合わせ先 infobsn1@gmail.com <http://www.bonyikuji.net>

〈理事名〉 [●は翻訳担当]

●多田香苗(代表)、稲葉信子、入部博子、奥起久子、小野田美都江、小竹広子、●瀬尾智子、高橋有紀子、橋亜希子、西垣敏江、西田真奈美、
●長谷川万由美、●引地千里、福原敦子、●本郷寛子、●三浦孝子、森あさよ、山本よしこ、涌谷桐子、柳澤美香、吉澤志麻、渡辺和香

BSNの理事会は、医師や助産師などの保健医療専門家ののみならず、社会福祉やメディア社会学、法律の専門家、および母乳育児支援団体の母親リーダーなどを含むメンバーで構成されており、母乳育児がしやすい社会をめざして活動を続けています。

入会希望の方は、次の事項を振込用紙の通信欄にご記入のうえ、年会費(3,000円)をご送金ください。
お名前・ご住所・電話番号・FAX番号・E-mailアドレス・所属や母乳育児とのかかりわりなど。

■会員特典

●入会時に刊行物を進呈します。●毎年のパンフレット日本語訳を送付します。
●資料購入の際の割引制度があります。●会員向けメーリングリストに登録できます。
送金先:郵便振替口座 00110-2-611471 加入者名 母乳育児支援ネットワーク